



素晴らしい場所、佐渡

メリッサ・マーシュ (アメリカ)

私は、長い間日本で働きたいと思っていました。だから、佐渡に来て始まった私の人生は、本当に新しい冒険となっています。私は、大学で歴史と演劇を学び、他の民族の伝統、文化、歴史などにも親しんできました。佐渡では、これまで本で読むだけだったことを実際に経験する事ができます。現代的であるけれども、ちょっと「なつかしい」日本が、佐渡島には存在するように感じます。

私は現在、5つの小学校で教えていますが、とても幸運だと思っています。子どもたちは、とても賢く、非常によく学びます。英語をネイティブスピーカーから聞いて学ぶことは、信じられないほど役に立つことです。英語の楽しさをたくさん味わって、私の訪問を毎週楽しみにしてくれたらと願っています。

また、佐和田中学でも、週に2日教えています。授業では、多くの生徒が内気で、まだ英語を話すのをためらっているように感じます。だから、私は、昼食や遊び時間の時にも、おもしろくてできるだけ簡単な英語を使うように心がけています。英語を学びたい気持ち、そして私を先生として歓迎してくれている事に感謝しています。

私は、今、日本語でみんなと話すことができるように勉強しています。まだ日本語は少ししか話せませんが、言葉は違ってもお互いに理解し、一緒に多くの楽しみを味わうことはできると思います。



佐渡、大好きダッチャ!

ドウゾ ヨロシク オネガイシマス。



佐渡の印象

ケリー・ハンソン (アメリカ)

私が佐渡でALTとして働けるという報せを受けたときは、驚きと喜びの気持ちで一杯でした。アメリカ中西部出身の私は、今まで一度も海の近くに住んだことがありません。だから、島に行くことには、少し不安を感じていました。しかし、佐渡に到着するとすぐに、海や風景、特に人々のことが大好きになりました。佐渡で会う人たちは、みんなとても親切です。行く先々で、温かい微笑とやさしい挨拶をしてくれます。

今私は、新しい故郷、佐渡の古風で美しい趣がある相川の通りを歩く事に夢中になっています。郵便局までの短い道のりにさえ、寺院、魚市場、博物館、面白いレストランや小さな商店などから、新しい日本の発見があります。

学校への訪問では、初めての子どもたちに会うことに、私自身とてもびくびくしていました。でも、子どもたちも先生方も、とても寛大で思いやりをもって接してくれました。今まで、私は、このよう



な歓迎を受けたことがありません。私は、子どもたちの元気な笑顔がたくさんある小学校が大好きです。子どもたちはみんな、とても多くのエネルギーと学習意欲をもっており、私は教えることに、いつもときめいています。また、中学生との勉強もおもしろく、彼らは自分が知っている英語で話しかけてきて、私を楽しませたり、驚かせてくれたりします。夏が終わり、そして紅葉が深まるにつれて穏やかになってくる佐渡にも満足しています。ここは、素晴らしい場所です。これからも、ここで学ぶことを楽しみにしています。私の佐渡でのスタートは、快適で、面白くて、エキサイティングなものでした。楽しくて、すべての人々に感謝したいと思います。ありがとうございます、佐渡!

健康フェスティバル開催!

「佐渡は仲よし大家族 ～出会い・ふれあい・つくし愛～」をテーマに、今年も健康フェスティバルを開催します。参加者みんなであれあい、元気になれるよう、体験コーナーや芸能、各グループの販売、お茶コーナーなどを企画しています。お誘いあわせの上、ぜひお越しください。

日時/11月26日(日) 10:00~15:00
場所/小木総合福祉センターつくし
および あゆす会館

お問い合わせ
市役所 保健医療課
TEL 63-3115



の写真事情」と題し講話されました。

(同窓会関東支部幹事長 本間壮平)



▲記念講演 三川秋一氏

県内でも歴史と伝統を誇る佐渡高校は、今年で110周年を迎えました。明治29年10月21日佐渡三郡町村組合立佐渡尋常中学校は創立以来、1世紀余りの長い歳月を経て各分野で多士済々を輩出してきました。記念講演には金井出身の三川秋一氏が「現在は金井出身の三川秋一氏が「現在の

■佐渡高校創立110周年記念を足早く東京で開催
9月23日(土)東京は、あいにくの秋雨模様。10月の創立記念日を待たずして、同窓会関東支部が港区のホテルを会場に110周年記念を行い、150余名が出席しました。

首都圏情報コーナー

